

大腸内視鏡検査の同意書

大腸内視鏡検査は、検査前日と当日に強い下剤を服用し、大腸内の便を全て排泄した上で、直径10mmほどの細い管を肛門から挿入し、大腸全体を詳細に観察し、診断するものです。検査を少しでも楽に受けていただくために、腸の動きを止める注射、鎮静剤（頭がボーっとする注射）を使用するようにしております。安全な検査ではありますが、以下に述べるような危険性もありますので、十分理解されたうえで本検査に同意される場合、ご署名下さい。

1. 検査中に何らかの病変を疑う所見が見られた場合、確定診断のために組織検査（生検）を行います。粘膜の一部をつかみ取るため、多少出血を伴います。
一般的に速やかに止血しますが、ごくまれに黒色便、血便をきたすことがあります。
2. その他の危険性としては、前投与薬によるものがあります。
 - 1) 鎮痙剤（ブスコパン、グルカゴン）のアレルギーによるショック症状
 - 2) 鎮静剤による呼吸抑制症状（呼吸が弱くなる）
 - 3) カメラの操作による粘膜障害（粘膜の亀裂）や裂傷（腸管穿孔を含む）

なお、検査を受けていただくにあたっての注意事項、前処置の手順は“大腸内視鏡検査を受けられる患者さんへ”をお読み下さい。

内視鏡検査による偶発症は、全国統計では10000人中で約5～6名です。当クリニックでは、上述の危険性に細心の注意を払いながら大腸内視鏡検査を行います。また検査中に強い腹痛が生じた場合には、それ以上の無理な挿入は行いません。万が一、何らかの偶発症が起こった際には、責任を持って対処させていただきます。

説明日：平成 年 月 日

浜本クリニック

説明医師：浜本 順博

私は大腸内視鏡検査の目的と方法・危険性について医師の説明および上記の記載事項を十分理解しました。浜本クリニックで大腸内視鏡検査を受けることに同意します。

平成 年 月 日

氏名： _____